

アグリ・フードサポート

exposition 第4回アグリフードEXPO2009

loans 農林水産事業資金の制度改正の概要

management strategy 有限会社 中野目畜産

topics 淡路農産食品 株式会社





詳しくは、日本政策金融公庫農林水産事業総合支援部までお気軽にお問合せください。

電話：03-3270-4116

ホームページ：<http://www.afc.jfc.go.jp/>

CONTENTS

アグリフードEXPO2009

日本最大級の国産農産物・加工食品見本市
第4回アグリフードEXPO2009を開催します！……………3

インターネットマッチング

インターネットでもアグリフードEXPOを開催しています……………6

農林水産事業資金

農林漁業セーフティネット資金

農林漁業セーフティネット資金のご利用要件が追加されました……………8

スーパーL資金

スーパーL資金円滑化貸付制度のご利用限度額が引き上げられました……………10

農商工等連携事業支援資金

農商工等連携事業を支援するための資金が新たに創設されました……………11

経営戦略

有限会社 中野目畜産 中野目正治さん(福島県)……………12

現地訪問

淡路農産食品株式会社(兵庫県)……………14

農業経営アドバイザー

農業経営アドバイザー制度をご紹介します！……………16

インフォメーション

ホームページに「お客さまの声」のコーナーができました……………17

定期相談窓口

定期相談窓口を開催中……………18

公庫本支店窓口一覧

……………20

- 表紙写真 輝く経営大賞2009環境部門賞を受賞した有限会社三皿園(愛媛県今治市)。地元名産のミカンを使ったジャムのびん詰め作業風景。ミカン是有機栽培で安心とおいしさにこだわる。

日本最大級の 国産農産物・加工食品見本市 第4回アグリフード EXPO2009 を開催します！

会期：2009年8月25日(火)～26日(水)

会場：東京ビッグサイト 西1ホール

主催／株式会社 日本政策金融公庫

入場／当日登録制(無料)

運営／エグジビションテクノロジーズ株式会社

募集小間数／400小間

出展者とバイヤー、 商談により「農と食」をつなぐ

出展者の皆さまは、国産農産物および加工品を個別出展ブースに展示し、来場する各業種のバイヤーの皆さまとの商談・交流に臨みます。

「国産」にこだわった、全国的な展示商談会

食の安全・安心への関心が高まるなか、国内農業や国産農産物に対する消費者の注目が強まっています。

「アグリフードEXPO」は、全国各地で国産ブランドを担い、魅力ある農産物づくりに取り組んでいる農業経営者の皆さまや、地元産品を活用した多様なこだわり食品を製造する食品メーカーの皆さまに、広域的な販路拡大の機会をご提供します。



展示ブースについて

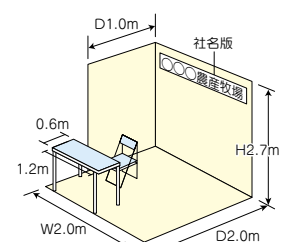
1小間 (2.0m×2.0m×2.7m) ¥94,500 (税込)

※料金に含まれるもの

- ・システム壁(背面) ・社名板(15文字まで)
- ・テーブル1台(1,200×600) ・パイプ椅子1脚

※すべての出展者が必ず角小間となるよう配置します。よって必ず2面(正面+側面)が開放となり、来場者と接する機会を増やすようサポートします。

※展示ブースが隣接する場合には限り、側面に壁(幅1m)を設置します。



出展対象

全国から「国産」にこだわった商品が多数出展されます。

- ❖ **農 業 者**……稲作、野菜、果樹、施設園芸、茶、きのこ、酪農、肉用牛、養豚、養鶏（採卵鶏、ブロイラー等）など
- ❖ **食 品 産 業**……国産農産物を原料とする食品を扱う国内食品・製造・加工・流通業者（水産を除く）など
※国産農産物を原料とする食品の展示に限ります。
- ❖ **関 連 技 術**……農業・施設園芸技術、酪農技術、養豚・養鶏技術、食品加工技術、生産管理・流通・包装・鮮度保持技術など



アグリフード EXPOに出展して

皆さんのこだわりの品を

紹介してみませんか？

セントラル・キッチンシステム

食材によって保健所の指導内容は異なりますが、「セントラル・キッチンシステム」の利用で試食品の簡単な調理・加工が可能です。
詳細は運営事務局までお問い合わせください。

来場対象

全国から国産農産物や加工食品を扱うさまざまな業種の方が来場されます。

- ❖ **商社・卸売業**……市場、仲卸、食品卸、食肉卸、輸出商社など
- ❖ **小 売 業**……百貨店、量販店、食品専門店、コンビニエンスストア、通信販売、八百屋・野菜・果物販売店、国産物にこだわる店舗・業者など
- ❖ **飲食・宿泊業**……ホテル・旅館・宴会施設、日本料理店、西洋料理店、中華料理店、有機レストラン・料亭など
- ❖ **食品製造業**……畜産加工（肉製品、乳製品）、野菜・果実缶詰、漬物、味噌、調味料、パン、菓子、清酒、清涼飲料、冷凍食品、麺類、豆腐、製茶など
- ❖ **中 食 業**……惣菜、給食など
- ❖ **消費者団体、料理研究会** ❖ **行政組織、学術機関**

展示商談会初出展者限定の農業者のチャレンジコーナーを設置します。

1小間 (1.0m×1.0m×2.7m) ¥31,500 (税込)

※料金に含まれるもの

・システム壁（背面） ・ 社名板（15文字まで）

・ テーブル1台（600×450） ・ パイプ椅子1脚

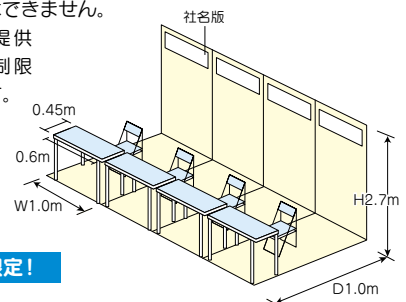
※角小間にはなりません。また隣の仕切りはありません。

※水道工事はできません。

※試食品の提供

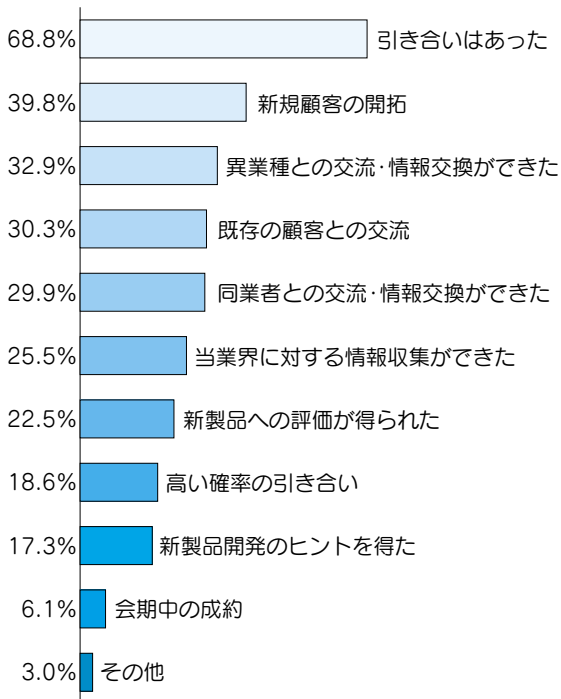
について制限

があります。



20小間限定！

前回のEXPOにおける出展の成果



来場者の声

- ❖ 実物を見ながら説明を受け、分からない事はその場で詳細に返答があり、臨場感のある商品説明を受けることができた。また、日常的に触れにくい食材も多数取りそろえてあり、調理してみたい材料に出会った。（飲食店）
- ❖ 顧客より要望があり、国産の商材を探していた矢先であったので大変参考になった。（卸売業）
- ❖ 最近のトレンドや新しい取り組みがわかり、今後の取り扱っていく商品の方向性の指針となりました。（食品製造業）
- ❖ 出展企業がどちらもいきいきと販促されていて大変心地よかったです。（小売業）



出展のお申し込み

同封の出展申込書に記入の上、FAXまたは郵送でお申し込みください。（申込書の提出先は、「出展申込書」の記載をご覧ください。）

お問い合わせ

❖ 主催事務局……

日本政策金融公庫
農林水産事業 総合支援部
TEL：03-3270-4116

❖ 運営事務局……

エグジビションテクノロジーズ
株式会社（担当：高田）
TEL：03-5775-2855

インターネットでも アグリフードEXPOを 開催しています

アグリフードEXPOインターネットマッ
チングをぜひ、ご活用ください！



地元だけでなく、
日本のあちこちで
作り手の想いが伝わるように
野菜を販売したいなあ…。

あなたの“こだわり”を、インター ネットで全国に届けませんか？

アグリフードEXPOインターネットマッ
チングは、「売りたい方」（農林漁業者・食品メー
カーの皆さま）と「買いたい方」（食品バイ
ヤー・飲食店等の皆さま）をつなぐビジネス
マッチングサイトです。

国産ブランドを担い、魅力ある商品づくりに
取り組んでいる売りたい人（農林漁業者）、
地元産品を活用した多様なこだわり食品を製
造する売りたい人（食品メーカー等）に、日本
全国を対象とした販路拡大の機会をご提供し
ます。

インターネットでの登録方法

① まずは、インターネットの
アドレスを入力。

<http://www.afc.jfc.go.jp/matching/>

② どちらかをクリック！
します。

今すぐ会員登録をする

- 「売りたい」方
(販売希望の方)
- 「買いたい」方
(購入希望の方)

「売りたい」方
(販売希望の方)

「買いたい」方
(購入希望の方)

ログイン

今すぐ会員登録をする

「売りたい」方
(販売希望の方)

「買いたい」方
(購入希望の方)

アグリフードEXPO インターネットマッチング

売りたい会員登録

「売りたい」会員登録は、登録フォームに入力し、送信ボタンを押すだけです。後日、公庫からご利用開始案内のメールをお送りします。

※お申し込みにあたり、公庫が審査を行う場合がありますのでご了承ください。

画面イメージ (実際の登録商品ではありません)

③ 会員登録のお手続きは、登録フォームに入力し、送信ボタンを押すだけです。後日、公庫からご利用開始案内のメールをお送りします。

※お申し込みにあたり、公庫が審査を行う場合がありますのでご了承ください。

画面イメージ (実際の登録商品ではありません)

④ 会員登録が完了すると、会員向けに「売りたい」商品または「買いたい」商品の情報登録や会員同士の情報交換が可能になります。

(非会員は、商品登録者や商品情報の詳細を見ることができません)

売りたい

「売りたい」会員情報
株式会社日本政策金融公庫

〒100-0004
東京都千代田区大手町1-9-3
TEL:03-3270-4116
FAX:03-3270-2350
メールアドレス: aaaaaa@afc.jfc.go.jp
URL: www.afc.jfc.go.jp

主要取扱品目 牛乳・乳製品
主要取引先 消費者直販
経営規模 牛乳100頭
年間売上高 6,000万円

当牧場は東京の丘陵地帯の真ん中にあり、肥沃な土壌が育んだ牧草をたっぷりと食べさせて、ストレスの少ない環境で健康な牛を育てています。牛乳・乳製品製造施設では、HACCPを取り入れ、高品質かつ安全・安心な生産に取り組んでいます。

この「売りたい」会員の他の商品を見る

公庫牧場特製 ジャージー牛低温殺菌牛乳

日本公庫牧場直送！
ジャージー牛低温殺菌牛乳

- ・成分無調整
- ・乳脂肪分4.5%
- ・ホモ／ノンホモの両タイプがあります。
- ・牛乳・乳製品製造施設では、HACCPを取り入れ、高品質かつ安全・安心な生産に取り組んでいます。

商品情報

生産地／加工地	東京都千代田区
取引希望地	全国
品目	低温殺菌牛乳(65℃、30分)
品種・種名	ジャージー牛
参考価格	牛乳:100円／ℓ(卸売価格)
出荷時期	1月～12月
生産量	搾乳量: 700ℓ／年
認証等取得状況	HACCP(牛乳) 承認工場

この「売りたい」会員への質問

この会員への質問

送信する

ご利用は一切無料です。「アグリフードEXPO インターネットマッチング」にあなたのこだわりの商品を登録して、販路拡大にチャレンジしてみませんか？

<http://www.afc.jfc.go.jp/matching/>

お問い合わせ

❖ 日本政策金融公庫 農林水産事業 総合支援部
TEL : 0120-926478 E-mail : matching@afc.jfc.go.jp

農林水産事業資金の制度改正の概要

農林漁業セーフティネット資金のご利用要件が追加されました

農林漁業セーフティネット資金

不慮の災害や、社会的・経済的な環境の変化等により、資金繰りに支障を来している場合等に、経営の維持安定に必要な長期運転資金をご融資する制度です。

対象となる方

- 認定農業者（農業経営改善計画を作成して市町村長の認定を受けた個人・法人）
- 認定就農者（就農計画を作成して都道府県知事の認定を受けた個人・法人）
- その他（個人）農業所得が総所得の過半を占める、又は農業粗収益が200万円以上の方
（法人）農業売上高が総売上高の過半を占める、又は農業売上高が1,000万円以上の法人

ご利用いただける要件

「対象となる方」が以下のいずれかの状況に置かれている場合にご利用いただけます。

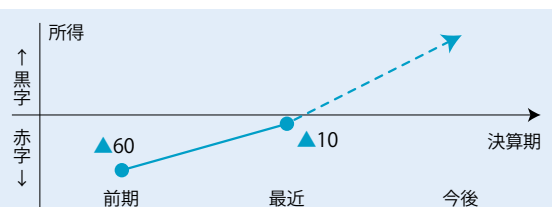
災害	■ 災害（台風、冷害、干ばつ、地震等）の被害を受けた。
行政指導	■ BSEや鳥インフルエンザ等の発生に伴う家畜の殺処分や、畜産物の移動制限を受けた。
社会的又は経済的環境の変化による経営状況の悪化	■ 最近の決算期における粗収益が前期に比し10%以上減少していること。 ■ 最近の決算期における所得率又は純利益額が前期に比し悪化していること。 ■ 売掛金等債権の回収条件、買掛金等債務の支払条件その他の取引条件の悪化が生じていること。 ■ 一時的な農産物価格の低下や資材価格の高騰等社会的な要因により経営に著しい支障を来している（ただし農業経営に著しい影響を及ぼすとして農林水産省が指定した事象に限る）。 ■ 取引先金融機関の業務停止命令や、貸し渋り等の影響を受け、資金調達に支障を来している。 ■ 取引先の倒産により、農産物の販売や資材の仕入れ等に支障を来している。

※要件の詳細につきましては、最寄りの日本政策金融公庫支店（農林水産事業）までお問合せください。

最近の決算期においては経営は改善されているものの、経営の回復途上にある以下の①から③のような状況にある場合でも、本資金をご利用いただけるようになりました。

① 2期連続赤字

最近の決算期における所得の赤字幅が前期に比し縮小したものの、依然として赤字が生じていること。



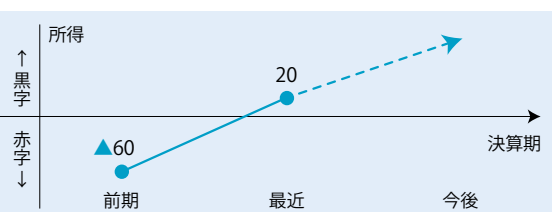
前期の決算期 ▲60

最近の決算期 ▲10

(※) 前期と最近の決算期で赤字幅が 50 縮小したものの、依然として赤字が生じている状況

② 2期合計赤字

前期の決算期において所得で赤字が生じており、最近の決算期において所得が黒字化したものの2期合計で赤字であること。



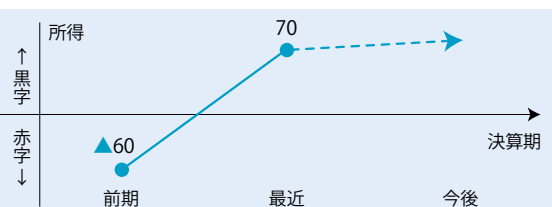
前期の決算期 ▲60

最近の決算期 20

(※) 前期の決算期が赤字、最近の決算期において黒字化したものの、2期合計では 40 の赤字
(▲60+20=▲40)

③ 黒字化したものの債務償還可能年数 20 年以上

前期の決算期において所得で赤字が生じており、最近の決算期において所得が黒字化したものの、債務償還可能年数(=長期負債÷(純利益額+減価償却費))が20年以上であること。



前期の決算期 ▲60

最近の決算期 70

長期負債 1,500

純利益額 20

減価償却費 50

債務償還可能年数=1,500÷(20+50)=21.4 年

(※) 前期の決算期が赤字、最近の決算期において黒字化したものの、債務償還可能年数が 20 年以上

※所得は専従者給与控除後の農業所得(法人にあっては経常利益)、純利益額は所得から納税額を差し引いた金額(法人にあっては税引後当期純利益)を指します。

スーパーL 資金円滑化貸付制度のご利用限度額が上げられました

円滑化貸付制度

農業経営改善計画の認定を受けられた方の自主性と創意工夫を活かした経営改善を支援するスーパーL 資金において、特にご経営の良好な方に、**無担保・無保証人でご融資する制度**です。なお、本制度によるご融資の残高がある場合でも、限度額の範囲内で繰り返しご利用いただけます。

対象となる方

- 農業経営改善計画の目標水準に達していること。
- 過去5年間に於いて制度資金の延滞がないこと。など

対象となる事業

- 農地等、施設・機械、果樹・家畜、その他の経営費等。
- ※ 経営の安定化（負債の整理など）は本制度の対象となりません。

利用限度額と要件

個人	利用限度額	1,000万円⇒ 2,000万円(2倍に引上げ)
	要件	①過去3期（災害等の特殊年を除く）の通算農業所得が黒字であること。 ②全国担い手育成総合支援協議会の経営診断等を受診すること。
法人	利用限度額	売上高に応じた次の額又は資本勘定額のいずれか低い額 【売上高】 5,000万円未満 2,000万円 ⇒ 4,000万円 1億円未満 3,000万円 ⇒ 6,000万円 1億円超 5,000万円 ⇒ 1億円 } 【利用限度額】 (2倍に引上げ)
	要件	①過去3期（災害等の特殊年を除く）の通算当期所得が黒字であり、かつそれを内部留保することにより資本蓄積を図ってきていること。 ②今後5年間の資本増強計画を作成していること。 ③社日本農業法人協会経由の経営診断を受診すること。

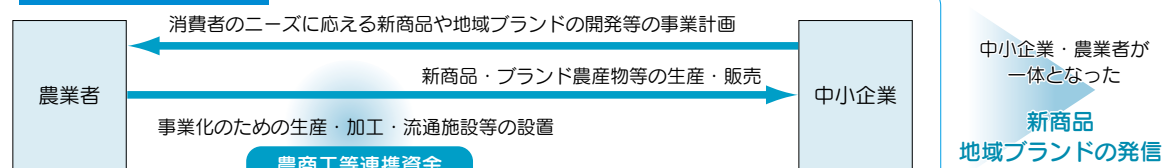
農商工等連携事業

対象となる方

※3 農商工等連携事業の実施にあたり、中小企業者と農林漁業者が共同で作成する計画。当該事業の目標、内容、実施期間及び事業化のための資金調達方法を記載する。

対象となる事業

農商工等連携事業計画



ご融資条件

償還期限	20年以内（うち据置期間3年以内）
融資限度額	負担する額の80%以内
金利	1.70%（平成21年4月20日現在）

※借入時の金利は金融情勢により
変動します。最新の金利は、融
資機関にご照会ください。

ご留意いただきたい事項 (P8～P11)

- ☐ 審査の結果により、ご希望に添えない場合がございます。
- ☐ 上記以外にも資金をご利用いただくための要件等がございます。詳しくは、最寄りの日本政策金融公庫支店（農林水産事業）までお問い合わせください。

本場で認められた福島産豚肉 穀物飼料、磁気水が効果生む



自家農場で豚の健康に気を配る中野目正治さん

有限会社 中野目畜産

代表取締役 中野目正治 さん
(福島県・泉崎村)

「夢味(ゆめあじ)ポーク」という親しみあるネーミングで自家生産した新鮮な豚肉を、福島県新白河の国道沿いの直営店で売り出し、養豚から生産加工、そして販売の一貫経営で評価を得ているのが、有限会社の中野目畜産だ。

国際コンクールで金賞8つ

有限会社中野目畜産代表の中野目正治氏が養豚経営にかかわったのが1973年。その5年後に有限会社中野目畜産に法人化して通算36年になる。養豚の仕事そのものに取り組んでから数えれば41年という息の長さだが、その中野目氏が思わず長年の苦労が実った、と小躍りした思い出深いことがある。

2008年に、ドイツで毎年行われた国際コンクールに、傘下の直営店ノーベルで加工販売している手づくりハムやソーセージを出品したところ、何と16品目すべてが入賞したのだ。しかも金賞が8つ、銀賞が7つ、残る1つが銅賞だから完勝に近いすごさだった。

中野目氏は「ドイツはソーセージづくりの本場。そのドイツで、日本の福島の自家製豚肉のソーセージやハムが金賞などの評価を得たのがうれし

かった。やった！と思いました」と語る。

中野目氏によると、ドイツのソーセージなどに使われる豚肉と違って、自分たちの製品の場合、手づくりの良質豚肉を原材料にすることにこだわったことがプラスに働いたのでないか、という。

このドイツでの国際的な評価は、中野目畜産のおいしい豚の生産、加工、販売の一貫経営というシステムそのものへの評価にもつながる。それをさらに裏付ける理由が2つある。

1つは中野目氏が心がけてきた安全・安心の新鮮でおいしい豚肉づくり、もう1つは長男の貴洋氏がマネージャーとして直営店ノーベルで手がけるハムやソーセージ加工の巧みさだ。

新型インフルの風評被害が心配

安全・安心で新鮮なおいしい豚肉づくりのために中野目畜産が養豚経営のポイントにしているの

は、穀物やミネラルを豊富にした餌にある。中野目氏によると、豚は残飯など何でも餌になる動物といった発想を捨て、消費者においしい豚肉を提供することを念頭に、まずは餌に工夫をこらし、あとは豚の健康管理に細心の注意を払うことだ、という。

餌に関してはトウモロコシ、大豆かす、キナ粉、フスマ、パン酵母など植物性たんぱくを主体に、あとは海藻、それに炭酸カルシウム、リン酸カルシウムはじめミネラル分を配合する。長年、取引のある日本農産に配合割合を指示してオリジナル飼料としているが、最も心がけるのは豚の肉質をよくすること、そして臭みをなくすることだという。

また、「活力を生み出す水」もおいしい豚肉づくりの秘密だという。たまたま知り合いのヒントで、水の流れの中に磁気を加えたら水の分子が活発になり豚にもプラス効果のあることがわかった。

中野目氏が豚の健康管理に細心の注意を払うことには理由がある。今回のメキシコに端を発する豚を宿主にした新型インフルエンザの風評被害が心配だが、それを払しょくすることが1つ。養豚経営が軌道に乗った1986年、オーエスキー病という感染症に巻き込まれ、分娩したばかりの母親豚にウイルス感染で、壊滅的な打撃を被った。それを繰り返さないことだ。

中野目氏は「86年は本当にショックでした。あれ以来、豚の健康管理と同時に衛生管理にはかなり気を使っています。それが結果的に消費者の信頼につながりますからね」と述べている。

本場でマイスターに師事

さて、もう1つは直営店「ノーベル」で手がけるハムやソーセージ加工の巧みさだ。これは長男の貴洋氏の努力が多分にある。東京農大を卒業後、食肉加工専門学校を経て、自家生産の豚肉を加工販売する夢を描き本場のドイツやデンマークでマイスターという専門職に学んで技術を習得した。直伝の成果が国際コンクールでの受賞となっている。

地元の活性化に貢献したい

直営店ノーベルでは30種類ほどのハム、ソーセージを売ると同時にカフェスタイルで軽い食事もできるようになっている。この直営店の売上高が伸び、中野目畜産への経営に貢献している。

福島県内のデパートやレストランに卸すほか、通信販売も行っている。味に対する評価の高さから規模拡大が経営の選択肢となるが、中野目氏は「原点は地産地消。泉崎村を軸に地域の人たちに食べて喜んでもらうのが一番うれしい」という。

中野目氏は今、村議2期目。泉崎村のさまざまな改革にも取り組んでいる。その意味でも地産地消、地元一貫経営の軸は崩さず、小さな村の中で力いっぱい頑張りたいという。

(取材 経済ジャーナリスト 牧野義司)



国道沿いの直営店「ノーベル」売り上げは着実に伸びている

DATA

有限会社 中野目畜産

代表取締役	中野目正治
会社設立	1978年
事業内容	養豚および豚肉・ソーセージなどの加工販売
所在地	〒969-0101 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字休場山8-2
年間売上高	約3億円

現地訪問

農商工連携を先取りして24年

淡路農産食品株式会社（兵庫県・南あわじ市）

今や地域経済活性化のキーワードとなった農商工連携。24年前から先取りする形で農業者や農協と連携し、成功している農産加工メーカーが淡路農産食品だ。地元南あわじ市にとどまらず北海道にまで戦略拠点を広げる活躍ぶりだ。

業務用野菜の産地育成に取り組む

淡路農産食品の設立は昭和60年。本社がある南あわじ市は、淡路島の南端に位置し、全国生産量の約1割弱のシェアを占めるタマネギ生産の盛んな地域である。

タマネギの味が良く青果用の販売ルートが確立されているため、農業者も単価の高い青果用に強い関心があった。農産加工に強い関心を持つ淡路農産食品にとっては、設立当時、規格外の不ぞろいのタマネギを含め加工用に大量確保が必要だったのだが、こうした青果用に出荷優先する農業者が多いため、集荷には苦労が絶えなかった。

そこで、淡路農産食品は、ビジネスモデル構築も兼ねて、ちょっと工夫をこらした。農業者に対し、もし加工用としてタマネギを出荷してくれれば、収穫と同時に全量引き取るという提案をしたのだ。この提案は、農業者にとっては膨大な手間となる収穫後の乾燥、選別の作業がすべて不要となり、農作業の約45%が省力化できるうえ、全量買い取りしてもらえるので経営安定のメリットがあった。

地域の農業者たち約50人との契約栽培が始まった。昨年度から農商工連携が政策テーマともなり、農業の現場でもキーワードとなっているが、淡路農産食品は、24年前の設立当時から、業務用野菜の分野でこのテーマに取り組んでいるのだ。

うれしい悲鳴というべきか、その後、農産加工品のニーズが強い外食産業からの注文が来たが、

対応しきれず新たな苦労を強いられた。そこで、淡路農産食品は、加工用タマネギの産地を作るしかないとの判断に至り、新たな取り組みに挑んだ。

昭和62年当時、役員1人の出身地、京都府丹後地域で大規模な農地開発が進んでいて、その農地で何を生産していくかが課題となっていた。淡路農産食品は、丹後地域のある農業者との偶然の出会いをきっかけに、加工用タマネギの試験栽培を依頼した。農協の協力もあって加工用タマネギの生産面積は試験栽培の20aから約30haにまで拡大、そのほか業務用野菜の生産にも取り組み、今では淡路農産食品の重要な生産拠点になっている。

農と食の架け橋役を担う

農商工連携を先取りした淡路農産食品のリーダーである伊佐佐夫社長には強い経営理念がある。その一つが「身土不二」（しんどふじ）だ。

身土不二というのは、伊佐社長によると、人間の身体と風土は一体で、ふるさとの大地には人の体が必要とするものが含まれているという意味。現在、国内では需給調整や販売規格に合わないという理由で農産物が畑に捨てられている。ふるさとの大地で作ったものには人の体が必要とするものが含まれており、作ったものを捨てるのはもったいない。

伊佐社長は「郷土の農地で農業者が丹精込めて作ったものにこだわり、それをわが社の持つ調理加工技術で価値あるもの、一年を通して食べられ



るものに作り変えて、余すことなく利用していくことが必要だ」と述べる。

淡路農産食品はこの伊佐社長の方針にもとづき、設立当初から国産原料にこだわることを宣言し、農業者や農協との契約栽培に取り組んだ。そして中核技術である調理・加工技術を生かし、ユーザーのニーズに応じた製品を柔軟に提供している。設立後24年目の昨年、淡路農産食品はタマネギをはじめとする野菜の最大の生産地、北海道でも新たな挑戦を始めた。岩見沢市に野菜の加工場を取得し、農協とも新たな安定的取引の契約を交わし、タマネギ、カボチャなどの業務用の野菜の加工を開始した。淡路農産食品ではこの工場を「ファーマーズ・キッチンと呼んでいる。農業者が丹精込めて生産したものを大事に使う加工し、ユーザーに提供するための調理場、まさに農業者と一体となって取り組み、輸入野菜に立ち向かって日本の産地を守る。そんな思いがこの新拠点の名前にきつと込められている。



タマネギ畑（写真上左）の中に本社工場（写真上右）がある。丹後地域の産地づくりは、良いタマネギを作るため、土壌分析（写真下）からスタートした。

として再利用することになった。この取り組みは野菜くずや食品廃棄物などを利活用する先導的取り組みとして兵庫県の「ひょうごバイオマスコモデル」に平成17年登録された。飼料化への取り組みでは、養豚で無投薬肥育、肉質改善、肥育期間短縮等の成果が得られた。現在も装置改良に組み、農地へ還元する土壌改良材を実用化した循環型農場の実現を目指している。

（取材 情報戦略部 小柳典義）

循環型農業の実現を目指す

日本で環境問題が大きな課題となっているが、淡路農産食品はいま、加工用として丸ごと引き受けるタマネギの外皮処理に取り組んでいる。タマネギの外皮は有効成分が詰まった大地の恵み。これを大地に還元することができないか、というもので、独自に工夫して超高速乾燥装置を開発・導入、タマネギの外皮を養豚向け飼料、土壌改良材

DATA

淡路農産食品株式会社

代表取締役社長 伊佐 定夫

資本金 3,000万円／従業員 65名

〒656-0512 兵庫県南あわじ市賀集立川瀬349

電話 0799-52-2454

農業経営アドバイザー 制度をご紹介します！ —全国に440名が活動

農業経営アドバイザー制度は、農業者の皆さまからの「農業の特殊性を理解している税務、労務、マーケティングなどの専門家のアドバイスが欲しい」といった要望に応えるため、平成17年度に創設いたしました。

これまで8回の研修・試験を実施し、沖縄県を除く46都道府県に440名の農業経営アドバイザーが誕生しています。

農業経営アドバイザーは、公庫職員、民間金融機関、税理士、中小企業診断士、普及員などにより構成されており、それぞれに金融、税務、営農技術などの得意分野、専門性を持っています。農業者の経営上のさまざまなご相談をお受けするために、アドバイザー同士連携を図り、農業者の皆さまの良きサポート役になれるよう努めています。

民間金融機関の農業経営アドバイザー活動

民間金融機関の方からは、農業経営を診る専門



農業経営のアドバイス方法について議論するアドバイザーたち

家となって活動していただくことで、民間金融機関の農業分野への参入を進めるとともに、多様な視点で、農業経営へのアドバイスを行っていただいています。また、農業経営アドバイザー試験に合格された方を中核として、新たに農業専門セクション設置等の取り組みも見られます。

税理士、中小企業診断士の農業経営アドバイザー活動

生産技術面では優秀な能力を持ちながら、一方で簿記記帳などの経営管理面が不得手な経営も相当数見られます。税理士、中小企業診断士などの専門資格を有する農業経営アドバイザーには、こうした経営者への指導、経営コンサルティングの実施を通じ、経営能力の総合的なアップにつながる機能を果たしていただいています。

また、平成20年度からは、「農業経営サポート委嘱事業」を開始し、税理士、中小企業診断士の方と公庫との連携を強化することにより、計画作成支援、融資後の経営フォロー、税務相談と幅広い対応を行っております。

今後の活動について

日本政策金融公庫農林水産事業では、金融に携わる関係者全体が農業者の皆さまのよきサポート役になれる取り組みを、アドバイザー制度の推進と合わせて実施しております。全国で活動する農業経営アドバイザーを通じた融資相談、専門的なサポートに関するご相談をお待ちしております。

農業経営アドバイザー試験合格状況

	公庫職員	税理士	中小企業診断士	業務協力等締結金融機関	普及指導員	その他	合計
第1回(H17/5)	14						14
第2回(H17/12)	7	12		1			20
第3回(H18/7)	8	7	1	6		1	23
第4回(H18/12)	11	22	3	15	3		54
第5回(H19/8)	10	13	2	16	3	2	46
第6回(H19/12)	7	25	1	21	2	4	60
第7回(H20/8)	9	68	5	21	3	13	119
第8回(H21/1)	7	61	1	24	1	10	104
合計	73	208	13	104	12	30	440



▶ お客さまアンケートフォーム

<http://www.afc.jfc.go.jp/>

にアクセスして、
皆さまのご意見をお聞かせください。



もっと
身近に!

全国で定期相談窓口を開催中

～お気軽にご利用ください～

日本政策金融公庫 農林水産事業では、皆さまのお近くの施設でご融資に関する定期相談窓口を開催しています。定期相談窓口の開催、時間などは、都合により変更する場合がございますので、まずは裏面の最寄りの支店か、お客さまフリーコール（0120-926478）にお問い合わせください。

定期相談窓口設置場所

(H21.4.30現在)

都道府県	相談窓口設置場所	曜日	時間	都道府県	相談窓口設置場所	曜日	時間
青森	五所川原市中央公民館	第2・4水曜日	13:00～16:00	山形	土地改良事業団体連合会庄内支所	毎週木曜日	13:00～16:00
岩手	久慈地方振興局	月1回	13:00～16:00		土地改良事業団体連合会置賜支所	第2・4火曜日	13:00～16:00
	宮古地方振興局	月1回	13:00～16:00	福島	日本公庫郡山支店	第4火曜日	11:00～14:00
	釜石地方振興局	月1回	13:00～16:00		福島県酪農協同組合本店(本宮)	第3木曜日	11:00～14:00
	大船渡地方振興局	月1回	9:00～12:00		JAそうま本店	第4水曜日	11:00～14:00
	二戸地方振興局	月1回	13:00～16:00		JAふたば北部営農センター	第3水曜日	11:00～14:00
	盛岡地方振興局	月1回	13:00～16:00		JAいわき市本店	第2水曜日	11:00～14:00
	県南広域振興局花巻総合支局	月1回	13:00～16:00		会津農業共済組合	第2・4木曜日	13:00～16:00
	県南広域振興局	月1回	13:00～16:00	茨城	土浦合同庁舎	第2・4木曜日	13:00～16:00
宮城	日本公庫一関支店	月1回	13:00～16:00		鉾田合同庁舎	第2・4水曜日	13:00～16:00
	登米市中田農村環境改善センター	第1水曜日	10:00～12:00		筑西合同庁舎	第2・4金曜日	13:00～16:00
	JAみやぎ登米南方支店	第3水曜日	10:00～12:00		常陸太田合同庁舎	第2・4火曜日	13:00～16:00
	JAいわでやま	第1木曜日	12:00～14:00	栃木	那須塩原市役所	第2・4木曜日	13:00～16:00
	JAあさひな	第2火曜日	13:00～15:00	群馬	西部県民局	第2・4火曜日	13:00～16:00
	JAみやぎ亘理	第1木曜日	13:00～15:00		吾妻県民局	第1・3木曜日	13:00～16:00
	JAみやぎ仙南	第2水曜日	13:00～14:30		利根沼田県民局	第1・3水曜日	13:00～16:00
	JA加美よつば	第2木曜日	12:00～14:00		東部県民局	第2・4水曜日	13:00～16:00
	JA栗っこ	第3水曜日	12:00～14:00	千葉	旭市役所干潟支所	第1・3木曜日	9:30～16:30
	JAいしのまき	第3木曜日	13:00～14:30		匝瑳市民ふれあいセンター	第2・4水曜日	13:00～16:00
秋田	JA古川	第4水曜日	10:00～15:00	神奈川	銚子市役所相談センター	第2金曜日	13:00～16:00
	JA秋田おばこ	毎月最終週	13:00～16:00		JA三浦市 初声会議室	第3火曜日	11:00～14:00
	JA秋田しんせい	毎月最終週	13:00～16:00		JAさがみ 総合経済センター(御所見支店)	奇数月第3木曜日	12:00～15:00
	JAこまち	毎月最終週	13:00～16:00		JA湘南 経済センター西棟	偶数月第3水曜日	11:00～14:00
	JA秋田ふるさと	毎月最終週	13:00～16:00				
	東北銀行鹿角支店	隔月	未定				
	JA大潟村	第2金曜日	13:00～16:00				

都道府県	相談窓口設置場所	曜日	時間
新潟	上越地域振興局	第1・3木曜日	13:30～16:30
	柏崎地域振興局	第1・3水曜日	13:30～16:00
富山	砺波体育センター	毎週火曜日	10:00～13:00
	入善町中央公民館	第2・4木曜日	13:00～16:00
石川	加賀農林事務所	第3水曜日	13:00～16:00
	奥能登農林総合事務所	第2水曜日	13:00～16:00
山梨	笛吹市春日居あぐり情報ステーション	毎週木曜日	15:00～17:00
	高根町農村環境改善センター	第1・3・5水曜日	15:00～17:00
	南アルプス市高度農業情報センター	第2・4水曜日	15:00～17:00
長野	日本公庫小諸支店	第3水曜日	13:00～15:00
	日本公庫松本支店	第2水曜日	13:00～15:00
	日本公庫伊那支店	第4水曜日	13:00～15:00
岐阜	高山市役所 丹生川支所	第2・4水曜日	12:00～16:00
	中津川市役所	第1・3水曜日	12:00～16:00
静岡	富士宮市役所	第4火曜日	10:00～12:00
	富士開拓農協	第4火曜日	13:00～15:00
	JAとびあ浜松大久保支店	第1・3水曜日	10:00～12:00
	JA遠州中央園芸流通センター	第3水曜日	14:00～16:00
	JAハイナン茶ぐりん牧之原	第2水曜日	10:00～12:00
	JA遠州夢咲大坂支店	第2水曜日	14:00～16:00
三重	日本公庫四日市支店	第1・3水曜日	13:00～15:00
滋賀	高島地域担い手支援協議会	第4水曜日	13:00～15:00
	甲賀地域担い手支援協議会	第3水曜日	13:00～15:00
	東近江地域担い手支援協議会	第2水曜日	13:00～15:00
	湖東地域担い手支援協議会	月1回土曜日	終日
	日本公庫彦根支店	第2木曜日	13:00～15:00
兵庫	日本公庫豊岡支店	第3木曜日	13:30～16:00
	日本公庫姫路支店	第3火曜日	13:30～16:00
	淡路市立中央公民館しづのおだまき館	第3水曜日	13:30～16:00
和歌山	日本公庫田辺支店	第1・3水曜日	13:00～16:00
鳥取	鳥取県西部総合事務所	第2・4火曜日	13:00～16:00
	鳥取県中部総合事務所	第1・3火曜日	13:00～16:00
島根	JAいずも本店	第2水曜日	15:00～17:00
	島根県西部農林振興センター	第4金曜日	10:00～12:00

都道府県	相談窓口設置場所	曜日	時間
島根	島根県西部農林振興センター益田事務所	第4木曜日	14:00～17:00
	JA雲南本店	月1回(10日)	15:00～17:00
岡山	おかやま酪農業協同組合本所	第4週火曜日	10:00～15:00
	真庭市蒜山振興局	第2週木曜日	10:00～15:00
	備中県民局井笠支局	第3週木曜日	10:00～15:00
	備中県民局新見支局	第3週火曜日	10:00～15:00
広島	JA三次本店	第1、第3水曜日	13:00～16:00
	JA庄原本店	第1、第3木曜日	10:00～14:00
	日本公庫福山支店	第2金曜日	13:00～16:00
山口	JA下関	第1・3水曜日	13:00～16:00
	萩市役所市民館	第2・4火曜日	13:00～16:00
	JA周南	第4木曜日	13:00～16:00
徳島	吉野川合同庁舎2階	第1・3火曜日	13:00～16:30
香川	西讃農業改良普及センター	第3火曜日	13:30～16:00
	東讃農業改良普及センター	第2木曜日	13:30～16:00
	中讃農業改良普及センター	第3木曜日	13:30～16:00
愛媛	JAえひめ南本店	奇数月第2木曜日	13:00～15:00
	日本公庫新居浜支店	第3木曜日	13:00～16:00
	愛南町農業支援センター	偶数月第2木曜日	13:00～15:00
高知	JA高知はた	第4木曜日	13:00～16:00
福岡	JAふくおか八女	隔月	未定
	JA糸島	第2水曜日	13:00～15:00
佐賀	JAさが白石地区統括支所営農センター	毎週水曜日	13:30～16:30
長崎	県央振興局農林部農業振興課	第2火曜日	13:30～16:30
	島原振興局農林水産部農業振興課	第2水曜日	13:30～15:30
	県北振興局農林部農業振興課	第2木曜日	13:30～15:30
大分	日田総合庁舎	第3水曜日	11:00～16:00
	宇佐総合庁舎	月1回	13:00～16:00
宮崎	北諸県農業改良普及センター	第2水曜日	10:30～15:00
	児湯農業改良普及センター	奇数月第4水曜日	10:30～15:00
鹿児島	日本公庫鹿屋支店	第2・4火・水曜日	火13～15 水9～12

資金のご利用や経営に関するお問い合わせ・ご相談は、お近くの窓口またはホームページ(www.afc.jfc.go.jp)にお気軽にどうぞ

支店名	郵便番号/住所	代表電話番号	フリーコール
札幌支店	060-0004 札幌市中央区北四条西5-1 アスティ 45ビル9階	011-251-1261	0120-911486
北見支店	090-0036 北見市幸町 1-2-22	0157-61-8212	0120-926474
帯広支店	080-0013 帯広市西3条南6-2	0155-27-4011	0120-926472
青森支店	030-0861 青森市長島 1-4-2	017-777-4211	0120-911495
盛岡支店	020-0021 盛岡市中央通 2-2-5 住友生命ビル6階	019-653-5121	0120-911539
仙台支店	980-6011 仙台市青葉区中央 4-6-1 住友生命仙台中央ビル11階	022-221-2331	0120-911547
秋田支店	010-0001 秋田市中通 1-2-26 秋田農林ビル4階	018-833-8247	0120-911498
山形支店	990-0039 山形市香澄町 3-1-7 朝日生命山形ビル5階	023-625-6135	0120-926485
福島支店	960-8041 福島市大町 1-16	024-521-3328	0120-959046
水戸支店	310-0026 水戸市泉町 1-2-4 水戸泉町第一生命ビル7階	029-232-3623	0120-926427
宇都宮支店	320-0026 宇都宮市馬場通り 1-1-11 宇都宮TDビル3階	028-622-9195	0120-959042
前橋支店	371-0023 前橋市本町 1-6-19	027-243-6061	0120-926481
さいたま支店	330-0802 さいたま市大宮区宮町 1-109-1 大宮宮町ビル6階	048-645-5421	0120-911564
千葉支店	260-0013 千葉市中央区中央 4-13-9	043-227-4435	0120-926471
東京支店	100-0004 千代田区大手町 1-8-2 新公庫ビル2階	03-3270-9791	0120-911624 0120-911953
横浜支店	220-0022 横浜市西区花咲町 7-150 ウェインズ&イッセイ横浜ビル3階	045-319-0825	0120-959013
新潟支店	951-8113 新潟市中央区寄居町 344-1 新潟農林ビル4階	025-222-6151	0120-911576
富山支店	930-0004 富山市桜橋通り 2-25 富山第一生命ビル2階	076-441-8411	0120-959043
金沢支店	920-0919 金沢市南町 6-1 朝日生命金沢ビル5階	076-263-6471	0120-911632
福井支店	918-8004 福井市西木田 2-8-1 福井商工会議所ビル3階	0776-33-2385	0120-926473
甲府支店	400-0031 甲府市丸の内 2-26-2	055-228-2182	0120-926482
長野支店	380-0836 長野市南県町 1081 長野東京海上日動ビル5階	026-227-8900	0120-911598
岐阜支店	500-8847 岐阜市金宝町 1-3 岐阜第一生命ビル2階	058-264-4855	0120-926483
静岡支店	422-8067 静岡市駿河区南町 18-1 サウスポット静岡5階	054-286-0233	0120-959041
名古屋支店	450-0002 名古屋市中村区名駅 3-25-9 堀内ビル6階	052-582-0741	0120-911658
津支店	514-0021 津市万町津 133	059-229-5750	0120-959014
大津支店	520-0047 大津市浜大津 1-2-28	077-525-7195	0120-959044
京都支店	600-8008 京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉈町 20 四条烏丸FTスクエア9階	075-221-2147	0120-911683
大阪支店	530-0057 大阪市北区曽根崎 2-3-5 梅新第一生命ビル8階	06-6131-0750	0120-911689
神戸支店	650-0023 神戸市中央区栄町通 5-2-19	078-362-8451	0120-959015
奈良支店	630-8253 奈良市内侍原町 51-1	0742-26-8781	0120-926457
和歌山支店	640-8158 和歌山市十二番丁 58	073-423-0644	0120-926425
鳥取支店	680-0834 鳥取市永楽温泉町 271 朝日生命鳥取ビル5階	0857-20-2151	0120-926437
松江支店	690-0887 松江市殿町 111 松江センチュリービル7階	0852-26-1133	0120-911691
岡山支店	700-0826 岡山市北区磨屋町 9-18-401 岡山県農業会館4階	086-232-3611	0120-911694
広島支店	730-0042 広島市中区国泰寺町 2-3-20	082-249-9152	0120-959016
山口支店	753-0074 山口市中央 5-2-47	083-922-2140	0120-926475
徳島支店	770-0856 徳島市中洲町 1-58	088-656-6880	0120-926495
高松支店	760-0023 高松市寿町 2-2-7 COI高松ビル3階	087-851-2880	0120-911698
松山支店	790-0011 松山市千舟町 4-5-4 松山千舟454ビル6階	089-933-3371	0120-911695
高知支店	780-0834 高知市堺町 2-26 高知中央第一生命ビル3階	088-825-1091	0120-911927
福岡支店	810-0001 福岡市中央区天神 4-2-20 天神幸ビル7階	092-751-5736	0120-911706
佐賀支店	840-0801 佐賀市駅前中央 1-5-10 朝日生命佐賀駅前ビル8階	0952-27-4120	0120-959045
長崎支店	850-0033 長崎市万才町 6-38 明治安田生命長崎ビル7階	095-824-6221	0120-911739
熊本支店	860-0842 熊本市南千反畑町 2-6	096-353-3104	0120-911724
大分支店	870-0034 大分市都町 2-1-12	097-532-8491	0120-959017
宮崎支店	880-0812 宮崎市高千穂通 1-6-38 ニッセイ宮崎ビル5階	0985-29-6811	0120-373055
鹿児島支店	892-0842 鹿児島市東千石町 1-38 鹿児島商工会議所ビル(アイムビル)9階	099-805-0511	0120-911725
本店	100-0004 千代田区大手町 1-9-3 公庫ビル	<部室ダイヤルイン>	0120-926478 (農林漁業者、食品企業専用)

アグリ・フードサポート (2009.6)

制作 (株)日本政策金融公庫 農林水産事業
営業推進部 営業統括課
情報戦略部 報道課

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-9-3 公庫ビル
TEL 03-3270-2272 (報道課)
URL <http://www.afc.jfc.go.jp/>